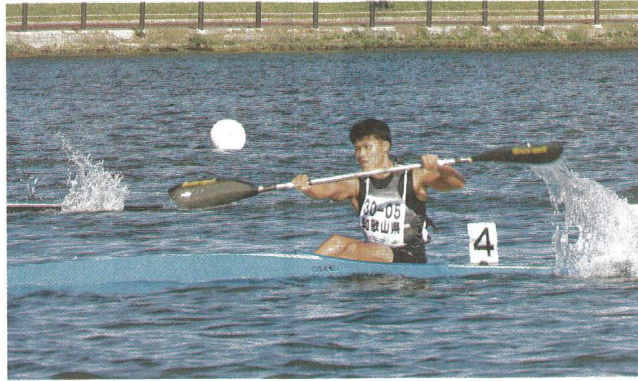


(1) 昭和21年7月10日第3種郵便物認可

国体の少年男子カヤックシングルの200㍍で優勝した富塚晴之君（7日、茨城県神栖市で）＝県カヌー協会提供



富塚君は少年男子K-1で予選、準決勝を勝ち進み、決勝で39秒682を記録し、2位に0・304秒差の接戦を制した。富塚選手は、成年男子K-1の200㍍の予選で組1位となり、決勝で37秒281を記録して2位に0・307秒差で優勝した。国体の200㍍では3連覇を達成した。このほか、神島高校教諭の阪本直也選手(31)が成年男子カナディアンシングル(C-1)で3位に入賞した。少年女子K-1では田辺高校2年の尾崎由依さん(16)が4位に入賞し、県勢の国体少年女子シングルで最高の順位だった。少年男子カナディアンペア(C-2)では、ともに神島高校3年の野久保翔万・松本佑哉組が8位に入った。7日に大子町であった成年男子ワイルドウォーターのカ

ヤックシングルスプリントでは、県教育センター学部の丘の大白言選手(46)が6位に入った。4、5日の結果も含め、茨城国体のカヌー競技で和歌山県は天皇杯、男女総合で5位(前年7位)だった。富塚君は少年男子K-1の200㍍で2冠を達成した。富塚君、5日の500㍍では1分45秒086を記録し、国体のこの部門では史上最高タイムだった。今季は18歳以下の日本代表に選ばれ、国際大会では出場した全7種目でメダルを獲得するなど好調。富塚君は「やっとう冠することができた。熱心に指導してくれた先生や家族、知り合いの皆さんのおかげ。皆で勝ち取った勝利だと思」と喜びを話した。

東京五輪の弾みに

富塚選手

成年男子K-1で接戦をものにした富塚選手。5日の500㍍では5位だったが、東京

富塚君2冠、富塚選手も優勝

国体カヌーで田辺勢活躍

第74回国民体育大会(茨城国体)のカヌー競技は7日、茨城県神栖市でスプリント200㍍各種目の決勝があり、少年男子カヤックシングル(K-1)で田辺工業高校3年の富塚晴之君(17)が、5日の500㍍に続いて優勝した。県教育センター学部の丘(田辺市新庄町)の富田悠佑選手(28)も成年男子K-1で優勝。このほか、田辺勢が多数入賞するなど活躍した。



国体カヌーのスプリントの200㍍で入賞した(前列左から)富田悠佑選手、富塚晴之君、阪本直也選手、(後列左から)野久保翔万君、松本佑哉君、尾崎由依さん＝県カヌー協会提供

富塚選手は今回の国体では天候不順で日程が変則的になった中、500㍍ではバスターを尽くしたと思ってしまう結果が出なかった。200㍍で挽回し、3連覇を達成できた。東京五輪に向けてさらに頑張りたい」と話している。



発行所 © 紀伊民報社  
和歌山県田辺市秋津町  
100番地 〒646-8660  
電話・0739 (22) 7171 (代)  
営業PAX・0739 (26) 0077  
編集PAX・0739 (25) 3094  
振替口座・00930-2-21977

和歌山支局  
電話 073 (428) 7171  
串本支局  
電話 0735 (62) 7171